

## 採点基準表

## 1 評価方法

加古川市窓口業務支援システム構築および運用保守業務について、下記のとおり評価を行い、契約候補者等を選定する。

## (1) 評価概要

企画提案の内容について、提案評価点（提案書およびプレゼンテーションから評価する）および見積評価点の採点を行い、その合計点を総合評価点（1,250点満点）とする。

## (2) 評価基準

## ①提案評価点（1,000点満点）

選定委員が提案書およびプレゼンテーションを基に採点を行う。配点は各選定委員1人あたりの持ち点であり、その合計点を提案評価点とする。

## &lt;評価基準&gt;

企画 提案書等 対応項番	評価項目	評価内容	配点	項目計
1	実施体制	実施体制は、本業務を遂行するにあたり適切であると考えられるか。 管理技術者・担当技術者は本業務の遂行のための技術力・マネジメント能力を有しているか。	10	10
2				
3				
4	導入スケジュール	本業務実施にあたってのスケジュールや手法が合理的なものになっているか。	5	10
		令和5年2月1日時点でサービス開始できる対象業務ほどの程度あるか。	5	
5	基本事項	本業務の目的を十分理解した提案となっているか。	5	50
		市民の利便性向上につながる提案となっているか。	15	
		職員の負担軽減および業務効率化につながる提案となっているか。	15	
		システムに汎用性・拡張性はあるか。	10	
		国において検討が行われている自治体情報システムの標準化の動向を踏まえた提案となっているか。	5	
6	システム構成	システムの一部に障害が発生した際、業務が継続して行える構成になっているか。	5	20
		個人情報を取り扱ううえで、適切なセキュリティ管理がなされているか。	5	
		基幹系システムとの連携方法は適切か。連携構築体制案はあるか。	10	

7	UI (ユーザーインターフェース)	市民向けの帳票のデザイン、構成および内容は、見やすくわかりやすいものか。	5	10
		システムの画面構成、画面遷移、入出力操作方法は、職員が効率的に業務できるよう配慮されたシンプルなものか。	5	
8	運用支援	業務改革の視点からシステムを活用した効率的な運用方法が提案されているか。	10	35
		システムの運用が円滑に開始できるよう、職員に対する操作研修の内容は十分であるか。	10	
		RPAシナリオの提供やRPAシナリオの作成支援により、システムから出力したデータを基幹系システムに円滑に連携できる提案があるか。	15	
9	保守および障害対応	帳票の追加・変更に伴う作業は、当市の負担が軽いものになっているか。	5	15
		障害対応の体制は適切か。	5	
		保守・サポート体制は適切か。	5	
10	付加提案	将来的にワンストップ窓口の実現や、他の窓口所管課での水平展開につながる提案があるか。	10	20
		その他、付加提案の内容が当市にとって有益なものであるか。	10	
11	機能要件回答書	機能要件回答書において「必須」ではない項目 (30 項目) の対応可否の回答内容に応じて、下記のとおり配点する。 ○：システム標準 (1 点) ●：代替案 (1 点) ×：実現不可 (0 点) ※代替提案と回答した内容について、代替提案になっていないと当市が判断した内容については、× (実現不可) として評価する。	30	30

## ②見積評価点 (250 点満点)

以下の方法で算出する。

配点は各選定委員 1 人あたりの持ち点であり、その合計点を見積評価点とする。

企画 提案書等 項番	評価項目	評価内容	配点
12	見積りに対する 評価	$\frac{\text{(構築費+運用保守費 (※) の応募者内での最低価格)}}{\text{(構築費+運用保守費 (※) の提案価格)}} \times 50 \text{ 点}$ <p>※運用保守期間が各者の提案により異なるため、運用保守期間を 47 カ月 (令和 5 年 2 月 1 日から令和 8 年 12 月 31 日まで) と仮定し、以下のとおり評価にかかる各者の運用保守費を積算する。 運用保守費 = 運用保守費総額 / 運用保守期間 × 47 カ月</p>	50

2 契約候補者等の選定

評価の結果、総合評価点が上位1位となった者を「契約候補者」、上位2位となった者を「次点者」として選定する。なお、合計点が同じ場合は、出席委員等の多数決で決定し、可否同数のときは、委員長が決定する。

また、総合評価点のうち見積評価点を除いた1,000点満点中の6割に満たない者は、契約候補者等に選定しない。

以 上